

すずらん

マスク贈呈していただきました

7月2日八戸中心街のみろく横丁運営会社「北のグルメ都市」の方々が湊病院にお見えになりマスクと消毒液を寄贈していただきました。東奥日報の取材の方も来ていただき、7月7日新聞に記事を載せていただきました。贈呈式後はデイケアセンターのメンバー皆にマスクが渡りました。消毒液は院内で使わせてもらうことになりました。本当にありがとうございます。大切に使用させていただきます。

デイケア代表感

毎年、八戸七夕まつりの飾り付けをしていましたが、今年は新型コロナウイルスで七夕まつりも中止となり、みろく横丁の皆様より手作りマスクの贈呈を受け、デイケアの面々にもくばられました。来年こそ七夕作り頑張るぞ。みろく横丁さん本当に有難うございました。(H・I)

今年は七夕祭りがなくて残念に思っていました。でも、みろく横丁の七夕を作って飾っていただいているのでマスクまでもらい、みんなで喜んでいてコロナにもかからないです。私も新聞にまで取り上げてもらい81才で、こんな経験ができてうれしかったです。(Y・S)



作品紹介2020



雷神

八戸 銭湯

七夕

イスタンブール

猫神さま

木陰にウーパールーパー!
ゾンビとアメ車

射的

T様のおすすめ本コーナー

『妻と飛んだ特攻兵』

8・19満州、最後の特攻』



「満州に特攻隊があったのを知っていますか？そのうちの隊員の一人はね、終戦直後に新妻を特攻機に乗せて、夫婦一緒に体当たりしたんですよ。」私が元特攻隊員の老人からこの逸話を聞いたのは平成22年の夏であった。規律の厳しかった日本軍で、女性が特攻機に乗れるはずがない。私がやんわりその質問をぶつけると老人は「満州にいたわけではないから、詳しい事は知らない。満州の部隊で生き残った戦友から聞いた話だ。嫁さんを飛行機に乗せた特攻隊員の名前は、たしか谷藤といったかな。故郷は青森の恐山の近くと聞いた。」1945年8月19日、満州。藤谷徹夫は妻を乗せ、空に消えていった。ノンフィクション作家の豊田正義氏の歴史ドキュメント作品です。スタッフとの会話でこの本に興味を持った。私は若い頃、田名部(今で言うむつ市)で仕事があり、空いた時間に市内の映画館に行ったりしていた。偶然にそのスタッフも同じ映画館に自転車通っていたことを知った。その映画館の創立者の息子が日本最後の特攻兵だった。

平和な現代では水や空気が当たり前のように感じているけど、この本を読んで平和も当たり前では無いと感じた。運命の歯車によって平和が無くなることもある。終戦記念日が近づいてきている。今一度みんなで考えてみてほしいと思い、この本を紹介しました。(Y・T)

若さんの映画紹介☆

今回取り上げるのは「フラッシュポイント導火線」です。ドニー・イェン主演のカンフー映画です。イップマン4の公開を控え、ノリにノっている♪ドニー・イェンの代表作です。本格的な総合格闘技を取り入れ、日本からもたくさんのスタントマンが参加している。他にリュースキーやリーピンピンなどが出ています。香港の刑事マは多数の容疑者を病院送りにする暴力刑事。ベトナム人マフィアに潜入捜査中のウィルソン刑事を守るためにマフィアに戦いを挑む。おもしろいのでおすすめです。(Y・S)



朝

場面、場面を切つてゆくと

深い傷のようなものが疼く

自分の過去の恥のような

銜いのようなものだ

今日も生きた

軽い賄を食べた

ほっとする

自分は良い市民だった

善った様な者ではなかった

偽りの自分の仮面を取る

そして昼の自分の恥を笑う

「場面」場面満足する

朝ご飯を食べた

おいしかった

もみじ



ガーデン湊初収穫です♪



ガーデン湊で育てた野菜の収穫が始まりました。みずみずしい立派なキャベツが収穫できました。キュウリや、ミニトマト、ナスなど夏野菜が元気に育っています☆畑の恵みに感謝☆



編集後記

デイケア新聞178号をお読みいただきありがとうございます。梅雨も徐々に過ぎる気配のようで、少しづつ夏の到来を感じる今日この頃です。デイケア一同感染予防に努めつつ、身近で楽しめる活動を続けております。次号もみんなの作品や活動の様子などを紹介していきたいと思っております。次号もすずらん新聞を宜しくお願い致します。



〒031-0813 青森県八戸市大字新井田字松山下野場7-15
TEL:0178-25-0011 FAX:0178-25-6721
医療法人 清照会 湊病院デイケアセンター



*記事および写真については本人の同意を得て掲載しております。